

歳入  
198億7,642万円

# 平成17年度一般会計決

みなさんが納められた税金等が、どの

総額84億2,456万円 42.4% □旧国分寺町 27億8,572万円 □旧石橋町 25億9,350万円 □旧南河内町 30億4,534万円	市 税
総額25億5,813万円 12.9% □11億7,904万円 □3億267万円 □10億7,642万円	繰入金
総額23億5,476万円 11.8% □7億186万円 □10億2,356万円 □6億2,934万円	地方交付税
総額10億2,000万円 5.1% □4億1,000万円 □1億8,621万円 □4億2,379万円	県支出金
総額9億9,020万円 5.0% □2億3,560万円 □4億1,980万円 □3億3,480万円	市債
総額9億2,035万円 4.6% □2億7,376万円 □2億7,092万円 □3億7,567万円	繰越金
総額9億1,030万円 4.6% □2億9,378万円 □3億3,320万円 □2億8,332万円	国庫支出金
総額5億2,556万円 2.6% □1億6,943万円 □1億6,588万円 □1億9,025万円	地方譲与税
総額5億1,448万円 2.6% □1億4,264万円 □1億8,831万円 □1億8,353万円	地方消費税交付金
総額4億1,406万円 2.1% □1億9,812万円 □5,755万円 □1億5,839万円	分担金及び負担金
総額12億4,402万円 6.3% □5億1,821万円 □3億2,485万円 □4億96万円	その他

その他の内訳	旧国分寺町	旧石橋町	旧南河内町	合計
地方特例交付金	8,452万円	8,156万円	1億3,610万円	3億218万円
財産収入	1億6,955万円	1,030万円	4,876万円	2億2,861万円
使用料及び手数料	9,886万円	6,878万円	4,997万円	2億1,761万円
自動車取得税交付金	6,698万円	5,889万円	6,994万円	1億9,581万円
諸収入	6,845万円	5,010万円	5,325万円	1億7,180万円
利子割交付金	1,107万円	1,212万円	1,740万円	4,059万円
株式等譲渡所得割交付金	769万円	864万円	1,247万円	2,880万円
国有提供施設所在市町村助成交付金	0	2,345万円	0	2,345万円
配当割交付金	525万円	576万円	826万円	1,927万円
交通安全対策特別交付金	385万円	427万円	431万円	1,243万円
寄付金	199万円	0	50万円	249万円
ゴルフ場利用税交付金	0	98万円	0	98万円
合計	5億1,821万円	3億2,485万円	4億96万円	12億4,402万円

## ●決算収支

平成17年度の旧3町から下野市への歳計剰余金を除いた形式収支（歳入歳出差引額）は7億5,338万円でしたが、農業生産総合事業、市道改良事業、仁良川地区土地区画整理事業等において、2億392万円を次年度繰越明許費としたため、繰越分を差引くと5億4,946万円の黒字収支となりました。

## ●歳入

歳入決算額は、198億7,642万円旧3町前年度決算総額191億5,069万円と比較して7億2,573万円、率にして3.8%の増となりました。

## ●歳出

歳出決算額は、191億2,304万円旧3町前年度決算総額179億7,633万円と比較して11億4,671万円、率にして6.4%の増となりました。

# 算をお知らせします

ように使われたのかご覧ください。

**歳出**  
191億2,304万円

費	旧南河内町 19億2,519万円	旧石橋町 12億5,396万円	旧国分寺町 22億4,508万円	総額 54億2,423万円 28.4%
総務費				総額26億7,395万円 14.0%
民生費			7億6,601万円	11億7,778万円
土木費			8億1,191万円	8億6,301万円
公債費			9億1,572万円	8億4,032万円
教育費			8億8,052万円	5億6,782万円
衛生費			5億6,650万円	3億1,609万円
消防費			2億9,687万円	3億3,236万円
農林水産業費			5億2,835万円	1億7,438万円
議会費			9,969万円	9,988万円
商工費			3,818万円	6,633万円
労働費			1万円	11万円
				6万円

●市民1人当たり決算額（平成18年3月31日現在 住民基本台帳人口 59,368人）

<p><b>決算総額</b> 322,110円</p> 	<p><b>議会費</b> 4,759円</p> <p>議会運営に 使われるお金</p> 	<p><b>総務費</b> 91,366円</p> <p>市の統括的なこ とに使われるお 金</p> 	<p><b>民生費</b> 45,040円</p> <p>福祉行政に 使われるお金</p> 
<p><b>衛生費</b> 20,454円</p> <p>健康診断、予防接種、ごみ の回収処理に 使われるお金</p> 	<p><b>労働費</b> 3円</p> <p>失業対策、労 働行政全般に 使われるお金</p> 	<p><b>農林水産業費</b> 14,486円</p> <p>農道整備、 農林業の振興 に使われる お金</p> 	<p><b>商工費</b> 4,322円</p> <p>商工業の育成、観光事業の 推進に使われ るお金</p> 
<p><b>土木費</b> 44,278円</p> <p>市道整備、区画整理、公園、 下水道整備等 に使われるお 金</p> 	<p><b>消防費</b> 14,967円</p> <p>消防活動、消防車等の整備 に使われるお金</p> 	<p><b>教育費</b> 40,780円</p> <p>小中学校の運営や公民館、 図書館、文化財の保護等に 使われる お金</p> 	<p><b>公債費</b> 41,655円</p> <p>市の借入金の返済 に使われるお金</p> 

注) 事務の合理化、効率化を図るため人件費は総務費に一括して予算を計上しています。

## ■下野市の財政を家計簿にたとえると

下野市の平成17年度一般会計決算を「1ヵ月の家計簿」のイメージで作成しました。  
 収入・支出ともに決算額を家計の実情に近づけるため、1,000分の1にして、12ヵ月で割っています。  
 (単位：円)

下野市の1ヵ月の家計簿								
[ 収入の部 ]					[ 支出の部 ]			
項 目	決算上の区分	金 額	割合	項 目	決算上の区分	金 額	割合	
①給 料	市 税	702,000	42%	①食費などの日常生活費	人 件 費	306,000	19%	
②パート収入	分担金・負担金・ 使用料・手数料・ 財産収入	72,000	4%	②医 療 費	扶 助 費	85,000	5%	
③親からの援助	交付税・譲与税・ 国県支出金など	496,000	30%	③ローン返済	公 債 費	206,000	13%	
④預金からの引き出し	繰 入 金	213,000	13%	④家具・日用品の購入 や光熱費など	物 件 費	207,000	13%	
⑤銀行等からの借入	市 債	82,000	5%	⑤ガラスなどの修理	維 持 補 修 費	12,000	1%	
⑥前月からの繰越	繰 越 金	77,000	5%	⑥自治会や保険料	補 助 費 等	196,000	12%	
⑦雑収入	諸 収 入	14,000	1%	⑦貯 金	積 立 金	128,000	8%	
1ヵ月の収入合計 1,656,000円					⑧株などへの投資	投資及び出資金・ 貸 付 金	7,000	1%
					⑨子供への仕送り	繰 出 金	162,000	10%
					⑩家の増改築	普通建設事業費・ 災害復旧費など	285,000	18%
					1ヵ月の支出合計 1,594,000円			

給料・パート・繰越・雑収入の自分達の収入は約52%で、残りは親の援助やローンの借入、預金の引出しで賄っているんだね。  
 これからは、親の援助もあてにできなくなるから、もっとやりくりを考えていかないといけないね。

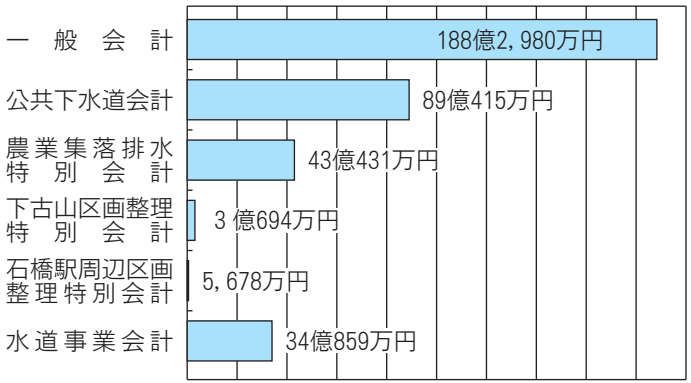


差引 62,000円 翌月へ繰越

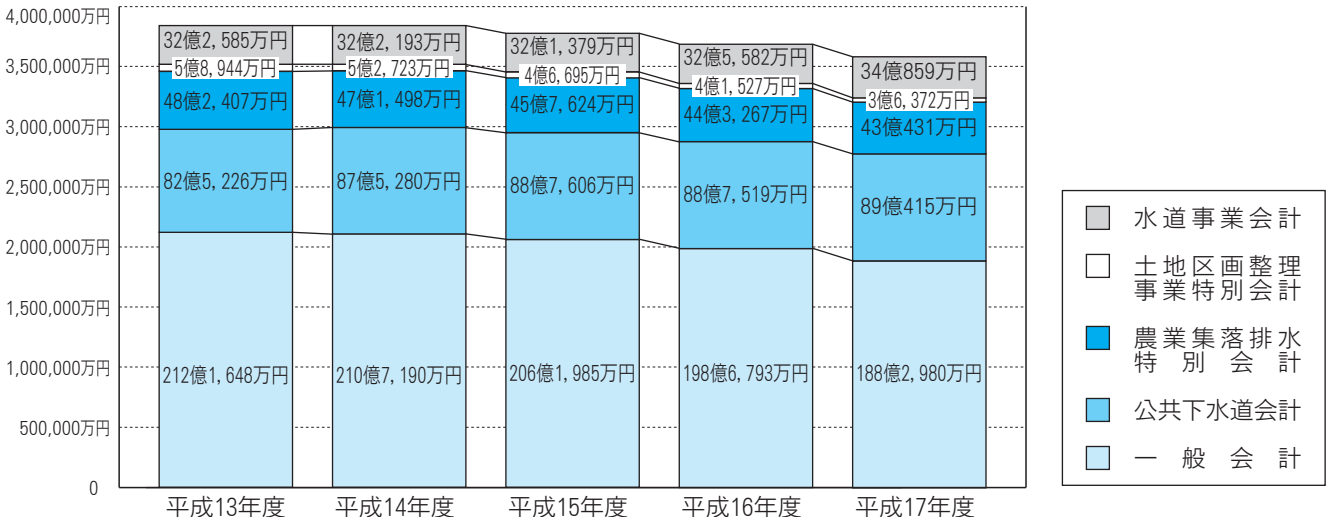
## ■地方債について

### ◆平成17年度各会計の地方債残高

会 計 名	平成17年度末残高	
	全 体	1人当たり
一 般 会 計	188億2,980万円	31.7万円
公 共 下 水 道 会 計	89億415万円	15.0万円
農 業 集 落 排 水 特 別 会 計	43億431万円	7.3万円
下 古 山 区 画 整 理 特 別 会 計	3億694万円	0.5万円
石 橋 駅 周 辺 区 画 整 理 特 別 会 計	5,678万円	0.1万円
水 道 事 業 会 計	34億859万円	5.7万円
合 計	358億1,057万円	60.3万円



### ◆各会計の地方債残高の推移



## ■ 財政分析について

◆ 平成17年度一般会計決算について県内の市との財政状況を比較しました。

-  大丈夫!
-  通常・・・
-  危ない?



下野市	87.4%	17.0%	13.0%	78.4%
宇都宮市	82.7%	11.8%	10.4%	101.6%
足利市	86.8%	19.0%	12.9%	72.2%
栃木市	90.0%	16.6%	13.0%	76.8%
佐野市	85.4%	13.9%	10.6%	72.8%
鹿沼市	88.6%	11.6%	9.5%	71.0%
日光市	97.1%	14.1%	12.8%	65.1%
小山市	85.6%	17.6%	12.0%	97.2%
真岡市	78.1%	18.4%	10.9%	92.0%
大田原市	89.0%	12.8%	9.6%	67.4%
矢板市	89.3%	14.9%	8.6%	78.8%
那須塩原市	89.7%	16.2%	12.6%	83.6%
さくら市	88.6%	16.8%	8.6%	74.4%
那須烏山市	87.8%	16.7%	10.5%	45.0%
栃木県市平均	87.6%	15.5%	11.1%	76.9%

### ● 経常収支比率 (使いみちの決まったお金)

65～75%・・・適正  
75%以上・・・注意 (財政が硬直化している)  
人件費や物件費、公債費など毎年必ず支払う経費を「経常的経費」といいます。その経費に、使いみちの自由なお金がどれくらい充てられているかを示すのが、経常収支比率といえます。

### ● 実質公債比率 (全会計の借入金返済の割合)

18%以下・・・望ましい  
18%を超えると・・・危険  
公債費とは返済金であり、これが自由に使えるお金に占める割合を「公債費比率」といいます。この指標は、返済金が市の財政を圧迫していないかを示しています。この数値が18%を超えると借入に県の許可が必要になり、25%を超えると制限されます。

### ● 起債制限比率 (借入金の割合)

15～20%・・・要注意  
20%以上・・・危険  
現在、借入れている借入金の割合が負担となっているかどうかを判断する数値です。この数値が20%を超えると市債の発行が制限されることになります。

### ● 財政力指数 (お金の調達力)

100%に近いほど余裕がある  
地方公共団体の財政力を示す数値で、100%に近いほど、財政に余裕があります。

## ■ 財産の状況

区分		平成17年度末
土地	行政財産	163万2千㎡
	普通財産	6万6千㎡
建物	行政財産	17万6千㎡
	財政調整基金	18億4,337万円
基金	減債基金	6億6,698万円
	地域づくり事業推進基金	5億2,169万円
	庁舎等整備基金	6,697万円
	公共施設整備基金	4億9,392万円
	地域福祉基金	4億2,519万円
	保健福祉施設整備基金	4億4,078万円
	グリーン保存育成基金	217万円
	土地開発基金・現金	4億5,050万円
	国保財政調整基金	6億3,199万円
	高額療養費資金貸付基金	300万円
	介護給付費準備基金	6,992万円
	基金合計	56億1,648万円

◆ 1人当たりの  
基金の貯蓄高  
94,604円



## ■ 市税の負担状況

1人当たり	1人当たり	1世帯当たり
141,715円	市税全体	418,886円
58,055円	市民税	171,601円
68,353円	固定資産税	202,040円
1,141円	軽自動車税	3,374円
5,889円	たばこ税	17,407円
8,277円	都市計画税	24,464円





## 平成17年度の主な投資的事業（一般会計）

費 目	決算額	主 な 事 業
総 務 費	1億9,106万円	(仮称) 総合保健福祉センター用地取得 (9,600万円) 合併関連庁舎等整備事業 (6,277万円)
民 生 費	4,658万円	(仮称) 総合保健福祉センター事業 (3,995万円)
衛 生 費	1,133万円	合併処理浄化槽設置補助 (1,036万円)
農林水産業費	3億1,846万円	米麦共同乾燥施設整備補助 (1億6,866万円) 農道整備事業 (9,428万円) 地籍調査事業 (3,266万円)
商 工 費	5,813万円	自然公園等整備事業 (3,218万円)
土 木 費	16億7,592万円	道路新設改良事業 (8億2,541万円) 土地区画整理事業 (6億2,592万円) 公園整備事業 (1億9,837万円)
消 防 費	2,612万円	消防自動車整備 (2,497万円)
教 育 費	10億9,604万円	学校給食施設整備事業 (6億6,958万円) 史跡保存整備事業 (1億1,584万円) 小中学校施設改修事業 (9,752万円)
合 計	34億2,364万円	

## 平成17年度特別会計及び公営事業の決算状況

会 計 名	区分	計	H17. 4. 1～H18. 1. 9			H18. 1. 10～	
			旧南河内町	旧石橋町	旧国分寺町	下 野 市	
国民健康保険特別会計	歳入	48億2,835万円	9億9,906万円	13億5,756万円	11億5,131万円	13億2,042万円	
	歳出	42億8,217万円	8億3,951万円	12億3,754万円	9億506万円	13億6万円	
	差引	5億4,618万円	1億5,955万円	1億2,002万円	2億4,625万円	2,036万円	
老人保健特別会計	歳入	40億1,904万円	8億3,504万円	10億6,319万円	8億5,383万円	12億6,698万円	
	歳出	37億5,166万円	7億9,572万円	9億5,937万円	7億8,557万円	12億1,100万円	
	差引	2億6,738万円	3,932万円	1億382万円	6,826万円	5,598万円	
介護保険特別会計	歳入	19億9,268万円	4億6,898万円	6億991万円	4億5,674万円	4億5,705万円	
	歳出	19億1,794万円	3億8,995万円	5億729万円	4億1,434万円	6億636万円	
	差引	7,474万円	7,903万円	1億262万円	4,240万円	▲1億4,931万円	
公共下水道特別会計	歳入	17億9,780万円	5億325万円	4億8,102万円	自治医大周辺下水道組合分を旧南河内町に一括計上しています。	8億1,353万円	
	歳出	17億3,300万円	4億4,942万円	3億7,661万円		9億697万円	
	差引	6,480万円	5,383万円	1億441万円		▲9,344万円	
農業集落排水事業特別会計	歳入	3億9,404万円	2億258万円	1,556万円	7,486万円	1億104万円	
	歳出	3億7,532万円	1億2,242万円	700万円	6,405万円	1億8,185万円	
	差引	1,872万円	8,016万円	856万円	1,081万円	▲8,081万円	
下古山土地区画整理事業特別会計	歳入	1億9,180万円	0	1億7,466万円	0	1,714万円	
	歳出	1億6,121万円	0	4,376万円	0	1億1,745万円	
	差引	3,059万円	0	1億3,090万円	0	▲1億31万円	
石橋駅周辺土地区画整理事業特別会計	歳入	3,541万円	0	2,280万円	0	1,261万円	
	歳出	2,686万円	0	1,049万円	0	1,637万円	
	差引	855万円	0	1,231万円	0	▲376万円	
水道事業会計	収益的	歳入	9億9,180万円	2億9,686万円	2億2,458万円	2億4,037万円	2億2,999万円
		歳出	8億1,998万円	2億4,698万円	1億9,191万円	1億8,819万円	1億9,290万円
		差引	1億7,182万円	4,988万円	3,267万円	5,218万円	3,709万円
	資本的	歳入	3億325万円	2,023万円	150万円	376万円	2億7,776万円
		歳出	6億635万円	2億5,159万円	1億1,504万円	1億3,259万円	1億713万円
		差引	▲3億310万円	▲2億3,136万円	▲1億1,354万円	▲1億2,883万円	1億7,063万円

※ 旧3町の平成17年4月1日から平成18年1月9日までの決算額と下野市の平成18年1月10日以降の決算額を合算した通年決算となっています。そのため、下野市の決算額から旧3町からの歳計剰余金を差し引いて記載しているため、赤字決算となっている会計がありますが、実際は合計欄の額の黒字となっています。

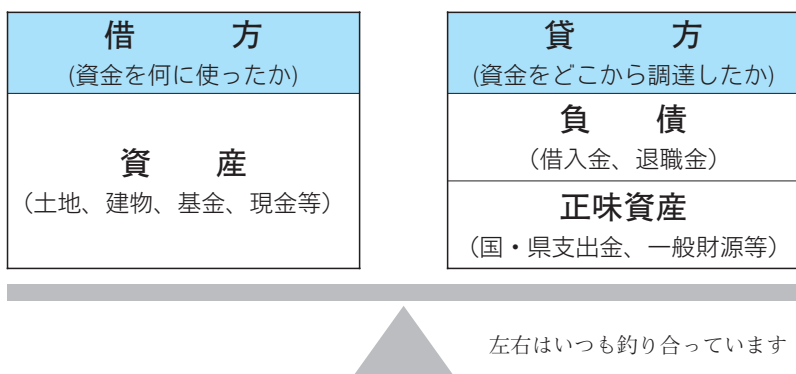
# 市の資産は822億円

市民のみなさんに市の財政状況を知っていただくため  
平成17年度のバランスシート（貸借対照表）を作成しました。

◆作成の目的◆

合併して誕生した私たちの「下野市」、現在の資産や借入金などの財政状況を市民のみなさんに分かりやすく情報提供するため、また今後の長期的な財政状況を判断できる資料として、バランスシートを作成しました。

◆バランスシートの見方◆



【バランスシートとは・・・】

年度末の資産と負債などを対象表示する表のことで、財務の運用状況が一目でわかる報告書です。

資産は現金と預金、土地や建物などの固定資産を含めた「市民の財産」です。

負債は借入金、退職金などの今後支払わなければならない「市民の負担」で、これからの世代が負担していく金額を表しています。

そして、資産と負債の差額が正味資産となります。民間では正味資産がマイナスの状態を「債務超過」といい、民間企業では経営破たんと判断されます。

## 平成17年度下野市のバランスシート

資産合計 822億8千万円 (1人当たり 137万円)  
負債合計 245億3千万円 (1人当たり 41万円)  
正味資産合計 577億5千万円 (1人当たり 96万円)

学校、保育園、道路等、社会資本の整備に使われた金額です。

関係団体への出資金や公共施設整備基金・土地開発基金などの貯金です。

現金で持っているもののほか、すぐに現金化できる基金、市税の未収金です。

借 方	
◆有形固定資産	
学校・保育園・道路・庁舎 土地等	747億8千万円
◆投資等	
投資、出資金等	2億2千万円
基金	26億2千万円
退職手当組合積立金	8億7千万円
計	37億1千万円
◆流動資産	
現金・預金・未収金	37億9千万円
●資産合計	822億8千万円

貸 方	
◆固定負債	
地方債等(市債等)	186億8千万円
退職給与引当金	39億1千万円
計	225億9千万円
◆流動負債	
翌年度償還予定額	19億4千万円
●負債合計	245億3千万円
●正味資産合計	577億5千万円
資産形成に使った国・県補助金、一般財源等	
●負債・正味資産合計	822億8千万円

社会資本の整備のため国や銀行から借り入れているお金の残高です。

市の全職員が年度末に退職した場合の退職金です。

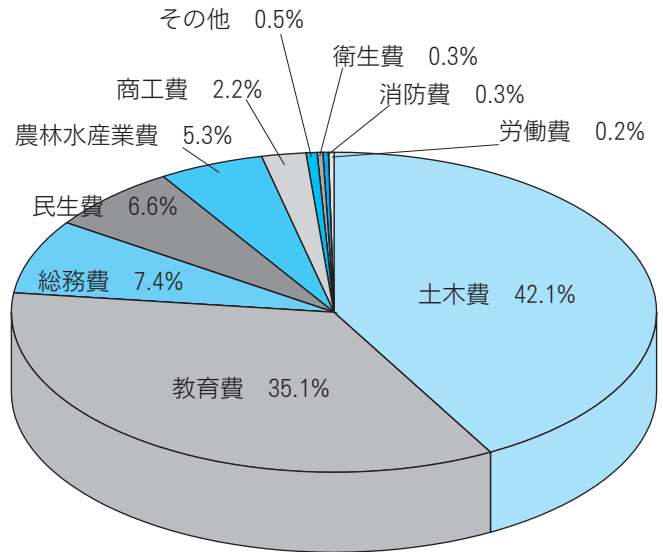
翌年度 (H18) に返済する予定の借入金の元金です。

いままで社会資本の整備のために使った、税金や国・県から補助金としてもらったお金等です。

◆有形固定資産の行政目的別の割合◆

バランスシートの有形固定資産を詳しく見ることにより、下野市(旧3町)がどのような行政目的に重点を置いて、社会資本の整備を行ってきた資産があるのかがわかります。

行政目的	有形固定資産額	構成比
土木費 (公園、道路、区画整理など)	314億5,465万円	42.1%
教育費 (学校、図書館など)	262億3,613万円	35.1%
総務費 (庁舎など)	55億4,138万円	7.4%
民生費 (保育園、児童館など)	49億2,594万円	6.6%
農林水産業費 (農道、農業施設など)	39億2,966万円	5.3%
商工費 (観光施設など)	16億3,667万円	2.2%
その他 (目的に類しない施設など)	3億6,344万円	0.5%
衛生費 (ごみ処理施設など)	2億6,687万円	0.3%
消防費 (消防施設など)	2億2,713万円	0.3%
労働費 (勤労青少年ホームなど)	1億9,335万円	0.2%
有形固定資産合計	747億7,522万円	100.0%



※行政目的とは？

自治体が行政サービスを行ううえでの区分です。

◆国のルールに沿って作成しましたので次のような条件や留意点があります◆

- ① バランスシートの基礎数値は、法律に基づいて作成し、国に報告している地方財政状況調査(昭和44年度から平成17年度まで)のデータによるものです。従って昭和44年度以前の事業費は含まれていません。
- ② 作成の基準日は、平成18年3月31日(平成17年度末)であり、基準日時点の状況をまとめました。
- ③ 集計した範囲は、市の普通会計の数値です。(水道・下水道・国保・介護等の特別会計は含まれていません。)
- ④ 建物の評価額は、取得当時の建設費を基準とし、国で示した耐用年数に基づいて減価償却(年数が経つにつれて資産価値が下がる処理)を行っております。土地については、取得した当時のままの価値で評価してあります。

・・・企画財政課財政担当より・・・

財政担当では、市の財政運営・状況をわかりやすく、みなさまにお伝えするよう努力しています。今回の内容や今まで広報等でお知らせした記事に対する、疑問・ご質問・ご意見等、また財政に関することで知りたい情報、記事の改善点等がありましたら、ご連絡ください。

下野市企画財政課 TEL 40-5552 Fax 40-5572

E-mail kikakuzaisei@city.shimotsuke.lg.jp